

カントリーレポート

ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー

1. OKPEWURU EGBE ナイジェリア

連邦女性・社会開発省 女性問題担当部 主席地域開発担当官

2. 基本情報

ナイジェリアは西アフリカの北緯 4°53 と 13 53 間、東経 2 40 と 14 41 間に位置する。西にベニン共和国、北にニジェール共和国と国境を分け、東と南に大西洋を望む。国土面積は 923,768 平方 km で 2006 年の国勢調査によると人口は 1 億 4000 万(男性 7200 万、女性 6800 万)である。

3. 私の職務

連邦女性・社会開発省の主席地域開発担当官としての私の職務は、女性に焦点を当てた NGO 活動の調整や適切な政策やプログラムの開発を支援し、女性の政治参画を改善することであり、女性の政治的エンパワーメントを行う 6 つの行政区センター間調整なども行う。また閣僚級諸委員会において省の代表として職務を行う。

4. 男女共同参画推進のための主な政策

国家ジェンダー政策 (2007 年); 子供の権利法(2003 年)

国家経済強化開発戦略(NEEDS)

ミレニアム開発目標; 国家教育政策

国家保健政策; 国家貧困削減プログラム(NAPEP)

経済強化女性基金(WOFEE)

女性のためのビジネス開発基金

女性開発センターの再活性

5. ジェンダー主流化における 3 つの主な障害

a. 男女間の不平等を促す社会文化的見識

b. ジェンダー主流化推進のための資源不足

c. 貧困の女性化、意思決定への女性参画レベルの低さなどに示される、女性エンパワーメントの不備

6. 研修で習得したこと

女性参画推進のために他国で用いられている戦略や手法について、我が国で活用できる有益な見識を習得した。また適切な政策の採択に起因する日本の高い実績に刺激を受けた。同様にジェンダーに基づく暴力に関する事実収集のためのメカニズムを構築し、暴力の虐待者及び被害者を対象とするプログラムを開催する必要性を認

識した。更にセミナーやワークショップ開催にあたって、詳細事項にも適切な配慮のできる JICA 研修実施機関の能力を模倣することができればと願う。

7 アクションプラン

- i) タイトル: 2010 年総選挙における女性の参画への意識啓発
 - ii) 目標: 官民部門の意思決定における女性の適合性に関する意識向上
 - iii) 対象機関: 女性の政治的エンパワーメントのための 6 つの行政区事務所 (Gusau、Owerri、Port Harcourt、Lafia、Gombe、Oshogbo)
 - iv) 期間: 1 年間 2010 年 3 月～2011 年 3 月
 - v) 実施機関: 連邦女性・社会開発省、エンパワーメント行政区事務所を管理している NGO パートナー
- 6) 対象: 世論指導者、一般市民
- 7) 活動
- A) ステークホルダーとの会議調整
 - b 情報、教育、伝達資材の設計及び開発
 - c 世論指導者を対象とした行政区レベルでの提唱
 - d) ステークホルダーを対象とした行政区レベルでのワークショップ
 - e) 行政区の有権者向けワークショップ
- 8) プロジェクトにおける私の役割は、プロジェクト実行のための管理調整である。女性省は後方支援を提供し、女性の政治的エンパワーメントのための行政区事務所を管理する NGO はプロジェクト実施を担当する。
- 9) **期待される成果**
- A) 国家サミット開催による女性の政治参画への機運が維持される
 - b) 2011 年の総選挙に出馬する候補者の少なくとも 40% を女性が占める
 - c) 公共機関へ選出される女性数が 2 倍になる
 - d) 公共機関へ任命される女性数が 2 倍になる